

平成 28 回和歌山木材協同組合通常総会が開催されました。

平成 28 年 5 月 24 日（火）、和歌山市のアバローム紀の国で第 67 回和歌山木材協同組合通常総会が開催されました。宮本次朗理事長の挨拶の後、早田克司議長により総会が進行され、提案された 1 号から 7 号議案まで異議無く可決されました。また 8 号議案では役員改選が上程されましたが、全員留任と決定され、もう 2 年間現体制で組合運営をすることとなりました。



総会の後、講演会が開催され、講師として仁坂吉伸和歌山県知事をお迎えして、参加者全員が向き合う対話方式の講演会を行いました。宮本理事長と司会者が場を進行、先ず仁坂知事より 20 分程度の講演、話題提供をいただき、それに関連して参加者が意見を述べ、知事が答え、また別の参加者、宮本理事長が意見を加えていくという形で会が進められました。予定は 1 時間でしたが結局は時間超過し、最後には懇親会への来賓として来ていただきました尾花正啓和歌山市長にも加わっていただきました。



右が仁坂吉伸和歌山県知事



左から二人目、尾花正啓和歌山市長
3 人目が宮本理事長

講演会終了後の懇親会は、講演会が 30 分ほど伸びた関係から遅れて始まりました。来賓として仁坂吉伸和歌山県知事様、尾花正啓和歌山市長様、また県農林水産部新谷垣内森

林・林業局長様をお招きし、宮本理事長の挨拶、知事様、市長様よりのご祝辞の後、山本進三副理事長の乾杯で懇親会がスタート。和気あいあいとした中で会は進み、最後は、中谷友紀副理事長の締め言葉と一本締めで懇親会は終了しました。



懇親会席上の仁坂知事、尾花市長



締め括りは中谷副理事長の発声で一本締め

今回、仁坂吉信和歌山県知事をお迎えしての講演会を参加者全員が向かい合うという形で行いましたが、互いに顔を見ながら意見を聞き、述べるという手法は、参加者自身緊張しながらも聞くことに集中できたのではないのでしょうか。

宮本次朗理事長体制での3期目のとなりますが、この2年間は和歌山木材協同組合の未来に向けた礎の期間となるよう頑張っていきたいと思えます。